

平成 25 年 6 月 21 日

国土交通大臣 殿

地域型住宅ブランド化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅ブランド化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称: **鳥取エコハウスプロダクト住宅[SITE](サイト)**

グループの名称: **鳥取エコハウス推進協議会**

平成24年度
採択グループ番号: **01－0038－0285**

(平成25年度新規グループは、採択グループ番号は必要ありません)

(グループ代表者)

代表者名:	森本 博美	代表者印
代表者所属先:	一般社団法人鳥取県建築士会	
代表者構成員番号:	VIII－2	
代表者住所:	鳥取県鳥取市商栄町195番地 大和ホール	
電話番号:	0857217280	

(グループ事務局)

事務局事業者名:	一般社団法人鳥取県建築士会	
事務局構成員番号:	VIII－2	
事務局担当者名:	野田 善之	印
事務局郵便番号:	680-0912	
事務局住所:	鳥取県鳥取市商栄町195番地 大和ホール	
事務局電話番号:	0857217280	
事務局FAX:	0857372024	
事務局担当者E-mail:	info@tottori-site.com	

※ 平成24年度採択グループは、平成24年度に提出された適用申請書から変更点がある場合、その変更点がかかるように(文字の色を変更する、下線を引く等)記載して下さい。

■他の様式にリンクしますので、全て正確に記載してください。

1. 地域型住宅の名称(必須)	鳥取エコハウスプロダクト住宅[SITE](サイト)			
2. グループの名称(必須)	鳥取エコハウス推進協議会			
3. 地域型住宅供給対象地域(必須)	鳥取県全域			
4. 結成年月(必須)	平成23年5月			
5. グループ代表者名(必須)	森本 博美			
6. グループ代表者の所属先(必須)	一般社団法人鳥取県建築士会			
7. グループ代表者の構成員番号(必須)	Ⅷ-2			
8. グループ代表者所在地(必須)	鳥取県鳥取市商栄町195番地 大和ホール			
9. グループ代表者電話番号(必須)	0857217280			
10. グループ事務局事業者名(必須)	一般社団法人鳥取県建築士会			
11. グループ事務局の構成員番号(必須)	Ⅷ-2			
12. グループ事務局担当者名(必須)	野田 善之			
13. グループ事務局郵便番号(必須)	680-0912			
14. グループ事務局所在地(必須)	鳥取県鳥取市商栄町195番地 大和ホール			
15. グループ事務局電話番号(必須)	0857217280			
16. グループ事務局FAX番号(必須)	0857372024			
17. グループ事務局担当者E-mail(必須)	info@tottori-site.com			
(構成員数) ※様式2-2の各シートからリンクする為、入力はありません。				
I. 原木供給	1			
II. 製材・集成材製造・合板製造	3			
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	1			
IV. プレカット	2			
V. 設計	4			
VI. 施工	6			
VII. 木材を扱わない流通				
VIII. I～VII以外の業種	2			
A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称	
	鳥取県産規格材	鳥取県内	鳥取県産材産地証明制度	
B. 平成25年度における地域型住宅の供給予定戸数等 (必須)	地域型住宅の供給予定戸数	(左記の根拠、様式2-2に記載した実績との関係等)		
	うち長期優良住宅	本補助金の活用により、長期優良住宅に集中的に取組む		
	10 戸	10 戸		
	地域型住宅による地域材使用予定	(左記の根拠、様式2-2に記載した実績との関係等)		
うち長期優良住宅分	鳥取エコハウスは大半を鳥取県産材を使用			
	200 m ³	200 m ³		
C. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	施工構成員に1戸を配分し、その後複数戸を希望する者に配分			
D. 平成24年度の執行状況 (H24年度採択グループのみ必須)	採択戸数 注4	交付申請件数	完了実績見込み	
			竣工済	竣工予定
	4 戸	3 戸	2 戸	1 戸

注1)代表者の所属先及び事務局事業者名は略さず正式名で記載してください。例:株式会社〇(株)×

注2)郵便番号は、ハイフンありで半角入力 例:123-4567

注3)電話番号・FAXは、ハイフンなしで半角入力 例:0123456789

注4)採択戸数は最終的な配分戸数を記入して下さい。

注1

注2

注3

[illegible]

注1) 県番号は、県番号のワークシートを参照してください。

注2) 郵便番号は、半角文字で、ハイフン付きで入力してください。(例:000-0000)

注3) 電話番号は、半角文字でハイフンやかっこを入れずに入力してください。(例: 000000000000)

※) 業種(Ⅰ、Ⅱ…)毎に、それぞれ原則として1事業者以上の構成員(ただし、Ⅵ. 施工については、年間住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上)による体制としてください。10事業者以上となる場合、構成員番号を連番で追加してください。

※) 業種(Ⅰ、Ⅱ…)毎に、平成24年(1月～12月)実績の大きい事業者から順に記載してください。

※) I～VII以外の業種の構成員がある場合は、VIIIに記載してください。

※) 国有林から原木を調達する場合など、原木供給事業者名を特定できない(グループ構成員として記載できない)が、地域材の調達手続きが明確な場合は、その旨を任意様式において説明してください。

※) 行が不足する場合は、該当業種のワークシートをコピーし追加して下さい。

※) <様式4>適用申請書記載事項確認念書の内容を正確に転記して下さい。事業者名については、(株)や(有)等の略号は用いず、正式な法人名を記入して下さい。

注3

[illegible]

注1) 県番号は、県番号のワークシートを参照してください。

注2) 郵便番号は、半角文字で、ハイフン付きで入力してください。(例: 000-0000)

注3) 電話番号は、半角文字でハイフンやかっこを入れずに入力してください。(例:000000000000)

※) 業種(Ⅰ、Ⅱ・・・)毎に、それぞれ原則として1事業者以上の構成員(ただし、Ⅶ. 施工については、年間住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上)による体制としてください。10事業者以上となる場合、構成員番号を連番で追加してください。

※) 業種(Ⅰ、Ⅱ・・・)毎に、平成24年(1月～12月)実績の大きい事業者から順に記載してください。

※) I～Ⅶ以外の業種の構成員がある場合は、Ⅷ以降に記載してください。

※) 行が不足する場合は、該当業種のワークシートをコピーし追加して下さい。

※) <様式4>適用申請書記載事項確認書の内容を正確に転記して下さい。事業者名については、(株)や(有)等の略号は用いず、正式な法人名を記入して下さい。

＜様式 2-2・Ⅲ＞

注3

注1) 県番号は、県番号のワークシートを参照してください。

注2) 郵便番号は、半角文字で、ハイフン付きで入力してください。(例:000-0000)

注3) 電話番号は、半角文字でハイフンやかっこを入れずに入力してください。(例:000000000000)

※) 業種(Ⅰ、Ⅱ…)毎に、それぞれ原則として1事業者以上の構成員(ただし、Ⅵ. 施工については、年間住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上)による体制としてください。10事業者以上となる場合、構成員番号を連番で追加してください。

※) 業種(Ⅰ、Ⅱ…)毎に、平成24年(1月～12月)実績の大きい事業者から順に記載してください。

※) Ⅰ～Ⅶ以外の業種の構成員がある場合は、Ⅷ以降に記載してください。

※) 行が不足する場合は、該当業種のワークシートをコピーし追加して下さい。

※) <様式4>適用申請書記載事項確認念書の内容を正確に転記して下さい。事業者名については、(株)や(有)等の略号は用いず、正式な法人名を記入して下さい。

注3

[illegible]

注1) 県番号は、県番号のワークシートを参照してください。

注2) 郵便番号は、半角文字で、ハイフン付きで入力してください。(例:000-0000)

注3) 電話番号は、半角文字でハイフンやかっこを入れずに入力してください。(例:000000000000)

※) 業種(Ⅰ、Ⅱ…)毎に、それぞれ原則として1事業者以上の構成員(ただし、Ⅵ. 施工については、年間住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上)による体制としてください。10事業者以上となる場合、構成員番号を連番で追加してください。

※) 業種(Ⅰ、Ⅱ…)毎に、平成24年(1月～12月)実績の大きい事業者から順に記載してください。

※) Ⅰ～Ⅵ以外の業種の構成員がある場合は、Ⅶ以降に記載してください。

※) 行が不足の場合は、該当業種のワークシートをコピーし追加して下さい。

※) <様式4>適用申請書記載事項確認書の内容を正確に転記して下さい。事業者名については、(株)や(有)等の略号は用いず、正式な法人名を記入して下さい。

<様式 2-2・V>

注3

[illegible]

注1) 県番号は、県番号のワークシートを参照してください。

注2) 郵便番号は、半角文字で、ハイフン付きで入力してください。(例:000-0000)

注3) 電話番号は、半角文字でハイフンやかっこを入れずに入力してください。(例:000000000000)

※) 業種(Ⅰ、Ⅱ…)毎に、それぞれ原則として1事業者以上の構成員(ただし、Ⅶ. 施工については、年間住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上)による体制としてください。10事業者以上となる場合、構成員番号を連番で追加してください。

※) 業種(Ⅰ、Ⅱ…)毎に、平成24年(1月～12月)実績の大きい事業者から順に記載してください。

※) I～Ⅶ以外の業種の構成員がある場合は、Ⅷ以降に記載してください。

※) 行が不足する場合は、該当業種のワークシートをコピーし追加して下さい。

※) <様式4>適用申請書記載事項確認念書の内容を正確に転記して下さい。事業者名については、(株)や(有)等の略号は用いず、正式な法人名を記入して下さい。

注5

※) <様式4>適用申請書記載事項確認念書の内容を正確に転記して下さい。事業者名については、(株)や(有)等の略号は用いず、正式な法人名を記して下さい。

注3

注1) 県番号は、県番号のワークシートを参照してください。

注2) 郵便番号は、半角文字で、ハイフン付きで入力してください。(例: 000-0000)

注3) 電話番号は、半角文字でハイフンやかっこを入れずに入力してください。(例: 000000000000)

※) 業種(Ⅰ、Ⅱ・・・)毎に、それぞれ原則として1事業者以上の構成員(ただし、Ⅵ. 施工については、年間住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上)による体制としてください。10事業者以上となる場合、構成員番号を連番で追加してください。

※) 業種(Ⅰ、Ⅱ・・・)毎に、平成24年(1月～12月)実績の大きい事業者から順に記載してください。

※) Ⅰ～Ⅶ以外の業種の構成員がある場合は、Ⅷ以降に記載してください。

※) 行が不足する場合は、該当業種のワークシートをコピーし追加して下さい。

※) <様式4>適用申請書記載事項確認念書の内容を正確に転記して下さい。事業者名については、(株)や(有)等の略号は用いず、正式な法人名を記入して下さい。

＜様式 2-2・Ⅷ＞

注3

注1) 県番号は、県番号のワークシートを参照してください。

注2) 郵便番号は、半角文字で、ハイフン付きで入力してください。(例: 000-0000)

注3) 電話番号は、半角文字でハイフンやかっこを入れずに入力してください。(例: 000000000000)

※) 業種(Ⅰ、Ⅱ・・・)毎に、それぞれ原則として1事業者以上の構成員(ただし、Ⅵ. 施工については、年間住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上)による体制としてください。10事業者以上となる場合、構成員番号を連番で追加してください。

※) 業種(Ⅰ、Ⅱ・・・)毎に、平成24年(1月～12月)実績の大きい事業者から順に記載してください。

※) Ⅰ～Ⅶ以外の業種の構成員がある場合は、Ⅷ以降に記載してください。

※) 行が不足する場合は、該当業種のワークシートをコピーし追加して下さい。

※) <様式4>適用申請書記載事項確認念書の内容を正確に転記して下さい。事業者名については、(株)や(有)等の略号は用いず、正式な法人名を記入して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 鳥取エコハウスプロダクト住宅[SITE](サイト)	(地域型住宅供給対象地域) 鳥取県全域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 鳥取エコハウス推進協議会	(結成年月) 平成23年5月
3. 平成24年度のグループ番号 (必須)	01-0038-0285	注1
4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み		
ア. 特徴あるブランド化の目標設定 (必須)		
【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
a. 鳥取エコハウス「SITE」(サイト)の取組み 気候は比較的温暖であるが、降雨が多く、冬季には降雪もあり、湿度が高い。台風などの自然災害は少なく、平穏な地域である。 この地域特性への対応を前提として、次の取組みを行う。 ○スケルトン(基本構造躯体)は、県産材を使用した骨太グリッド架構、長期優良住宅仕様、CASBEEとっとり[戸建て]評価Aランクを満たすこと ○「自然エネルギー利用タイプ」、「高断熱・空気循環タイプ」、「太陽熱利用タイプ」の3つのうち1以上のエコ仕様を満たすこと ○「天然・無垢・土に還る材料」、「鳥取で作られたモノ」、「エネルギー消費量の削減に寄与するモノ」の3つの基準のいずれかを満たす仕上げを採用すること ○住宅履歴情報の保管、定期点検の実施、取扱説明書を提供すること 【平成24年度の取組みにおける課題】 仕様が厳しすぎる点があり、住宅価格が高くなっており、鳥取エコハウスの需要層が限定され、普及が進まなかった 【課題解決に向けた平成25年度の取組み】 仕様の簡便化を図り、住宅価格の低減に努める		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
上記を踏まえた地域型住宅の特徴等(性能や地域性等)における共通ルール(任意)	・主要な室内建具の引戸、南面、西面の底の出を0.3H(開口部下端から地下端の寸法)・開口部(延面積の10%以上)を真南±30度の位置とする。 ・居室の開口部は複層ガラス(3+A6+3)以上 ・柱の小径12cm以上(壁の仕様では10.5cmも可)	鳥取エコハウス調書で協議会が確認 住宅の木拾い表及び構造図で協議会が確認
イ. 効率的で持続性のある住宅生産体制の整備 (a 必須)		
【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
a. 住宅生産体制の整備と品質維持に向けた取組み 施工構成員においては、木材、建材の仕入れの容易性、安定化が必要であるので、次の取組みを重点的に行う。 ○県産乾燥材の安定供給を図るため、木材断面寸法の種類を集約し規格化 ○生産の効率化を図るため、規格化木材のストックの推進 ○良質な建材の統一化を進め、建材価格の縮減 【平成24年度の取組みにおける課題】 製材構成員の規格化及びストックへの取組みが遅延したため、十分に施工構成員の要請への対応が不十分であった 【課題解決に向けた平成25年度の取組み】 県産材規格化部会において、規格化木材の種別の絞り込みを検討し、そのストック及び流通を促進する。施工構成員には、規格化木材を活用する設計・施工を徹底する。		
b. 住宅生産におけるグループの信頼向上に資する取組 ○協議会で定めた鳥取エコハウス基準書を遵守し、第三者機関(一財)鳥取県建築住宅検査センターの検査証明書を引渡書に添付 ○標準見積書を使用して消費者への提示・説明の義務化 【平成24年度の取組みにおける課題】 ホームページに消費者の関心を高めるための工夫が不足したため、鳥取エコハウスの普及及び需要に結び付かなかった 【課題解決に向けた平成25年度の取組み】 消費者の信頼向上に資するようにホームページの内容を検討し、構成員へのリンク等も実施し、幅広く情報が提供できるよう刷新		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
上記の住宅生産の合理化・効率化に資する取組、安定供給の長期維持体制、グループの信頼向上に資する取組における共通ルール(任意)		

注1) 平成24年度採択グループのみ記載してください。
※) それぞれの項目について、平成24年度採択グループは、平成24年度の取り組みを踏まえた課題と平成25年度における対応方針を明確に記載してください。
※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 鳥取エコハウスプロダクト住宅[SITE](サイト)	(地域型住宅供給対象地域) 鳥取県全域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 鳥取エコハウス推進協議会	(結成年月) 平成23年5月
3. 平成24年度のグループ番号 (必須)	0 1 - 0 0 3 8 - 0 2 8	5 注1
4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備 (a 必須)		
【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
<p>a. 住宅の長寿命化に向けて履歴情報の蓄積、グループとしての点検内容・診断基準の設定を行い、すまい手の安心と信頼を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住宅履歴情報蓄積の義務化と住宅履歴情報活用のWGの設置 ○グループ共通の維持保全計画書の作成と活用及びメンテナンス実施時期の明文化(3カ月・1年・3年・5年・10年) ○メンテナンス実施に関する報告書の提出(すまい手に原本、事務局に写しの提出) ○すまい手による「住宅のお手入れマニュアル」の作成と消費者を対象とした相談会の実施 <p>【平成24年度の取組みにおける課題と平成25年度の取組み】</p> <p>グループとして住宅履歴情報の管理方針が明確となっていなかったため、施工構成員各社での管理となりグループ全体での鳥取エコハウスに関する情報の把握が不十分であった。住宅履歴情報の管理、協力機関及び蓄積情報の統一を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住宅履歴情報の管理・活用指針を基にグループ全体としてメンテナンス体制を構築 		
<p>b. 施工者の廃業や業態の変化に対する対応として、施工者の選定、信頼の確保に関して次の取組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○協議会事務局に「相談窓口」の設置と、連絡先を明記した「SITE」(サイト)リーフレットの発行 ○瑕疵が発生した場合の対応の手引きを作成し、住宅の引渡時に「重要事項説明」としての説明の義務付け ○補助金の受け渡しに関する証明書を作成し、受け渡し完了後証明書の写しを協議会事務局に提出 <p>【平成24年度の取組みにおける課題と平成25年度の取組み】</p> <p>廃業、業態の変化への対策まで検討していなかったため、(一社)鳥取県木造住宅推進協議会と協同して完成補償制度を確立</p>		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
グループの長期にわたる住宅維持管理体制における共通ルール (任意)		
住宅履歴情報の保存方法 (任意)		
エ. グループの技術力の向上 (a 必須)		
【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
<p>a. 地域型住宅は、長期優良住宅認定・設計性能評価の取得において、未経験の構成員が含まれている。その対応として、設計構成員によるサポートや仕様説明会・施工・設計に関する勉強会等の計画を立て実施することとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施工グループの内、長期優良住宅の経験メンバーを中心として、実際の施工現場での施工勉強会の実施 ○未経験者の不安・疑問に対処する勉強会の実施 ○設計グループを中心とした住宅開発部会の設置と仕様説明会の実施(1回:必要に応じて追加実施) ○設計仕様委員会主催の長期優良住宅・設計性能評価研修会の実施 <p>【平成24年度の取組みにおける課題と平成25年度の取組み】</p> <p>長期優良住宅に取組んだことのない施工構成員の取組みがなかったため、供給予定戸数の達成率が3分の1程度であった。施工グループ全体に対する設計・施工・仕様作成・見積等に関する知識・技術に関する研修の体制を強化する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○(一社)鳥取県木造住宅推進協議会の支援を受けて、提案から設計・施工までのアドバイスが可能な体制を整備 ○鳥取県建築士会の協力による許容力度計算講習会の実施 ○住まい手像を明確にした鳥取エコハウスのバリエーションを増やし、仕様や見積内容を共有 ○(一社)鳥取県木造住宅推進協議会の協力を得て、設計構成員の積極的な活用を推進 		
b.		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
グループの技術力の向上における共通ルール (任意)		

注1) 平成24年度採択グループのみ記載してください。

※) それぞれの項目について、平成24年度採択グループは、平成24年度の取り組みを踏まえた課題と平成25年度における対応方針を明確に記載してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 鳥取エコハウスプロダクト住宅[SITE](サイト)	(地域型住宅供給対象地域) 鳥取県全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 鳥取エコハウス推進協議会	(結成年月) 平成23年5月
3. 平成24年度のグループ番号(必須)	01-0038-028	5 注1
4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み		
オ. 地域産業の活性化(a, 必須)		
【平成25年度における対応方針】(平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
a. 鳥取エコハウスでは、次の2点に留意し地域材を選定 ○主要構造材として、品質・性能・強度が明確に判断できる材を使用すること ○地域材の供給が安定的に行え、住宅価格の高騰を避けることができること 【地域材の具体的な使用部位とその使用量】 ○使用する地域材として主に、鳥取県産材産地証明制度による鳥取県産材を使用 ○主要構造材(柱、梁、桁、土台)の過半に協議会指定の鳥取県産材を使用し、柱は原則4寸角以上の材を使用		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
地域材利用に関する共通ルール(必須)	協議会指定の乾燥木材の使用	鳥取県産材産地証明による確認
b. 使用する地域材情報のグループ構成員による共有方法 部材の統一化、単価の調整等による県産乾燥材の情報提供を行っている。 【平成24年度の取組みにおける課題と平成25年度の取組み】 地域材情報の共有が不十分であったので、ホームページにおいて、地域材の供給グループ(原木供給・製材・集成材・合板・流通)による地域材の出荷状況等の情報の提供を行い、全構成員が情報を共有できる体制整備		
c. 伝統技能の積極的な活用 県の木造住宅助成制度の木材の手刻み加工、外壁下見板貼、日本瓦、木製建具の伝統技術の活用と歩調を合わせている。 【平成24年度の取組みにおける課題と平成25年度の取組み】 伝統技術の活用に対する取組みが名目だけに終わっているため、その実績等を把握して活用拡大		
d. 地域の街なみ・景観ガイドライン等との整合性 鳥取県は海岸部、中山間地、里山と自然景観に恵まれており、鳥取エコハウスの外観、外構は地域景観に調和するよう促している。 【平成24年度の取組みにおける課題と平成25年度の取組み】 施工構成員の地域景観への配慮が不十分な面があったので、設計・施工構成員に対して、市町村の景観ガイドラインを学習する研修会を実施		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
地域材情報の共有、地場産業等の積極的活用、街並みガイドライン等に関する共通ルール(任意)		
その他(任意)		
【平成25年度における対応方針】(平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		

注1) 平成24年度採択グループのみ記載してください。
※) それぞれの項目について、平成24年度採択グループは、平成24年度の取り組みを踏まえた課題と平成25年度における対応方針を明確に記載してください。
※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。
※) グループの取組に関する補足説明は、様式3-3の「その他」の欄に記載してください。